



保育所だより



令和3年9月号
中部保育所
Tel.63-3221 090-5693-1233

残暑が厳しい毎日ですが、日ごとに朝夕吹く風がさわやかになってきたように感じます。

今年は、どんよりとした空模様が多い8月でしたが、新型コロナウイルス感染症に合わせて熱中症等にも十分配慮しながら保育を行ってきました。その中でも子どもたちは暑さに負けず、プール遊びを思いきり楽しめましたよ。「顔つけができるようになったよ。」「プールの壁から壁まで潜って泳げるよ。」と、できたことへの満足感が感じられる報告をたくさん聞くことができました。この夏、プール遊びを通して得られた自信が、また一つ子どもたちの成長につながったと思います。

さて、今月は10月の運動会に向けて、年齢に応じたいろいろな運動遊びを取り入れ保育を進めていきます。大きいクラスの子どもたちは、あきらめずにやってみようと思う気持ちやくやしい気持ちなどを経験しながら、体を動かす楽しさを感じられるよう工夫していきます。

9月の行事予定

- 2日(木) 「元気いっぱいひらたっ子！」取材
- 3日(金) 一日保育士④
- 6日(月)～10日(金) 身体測定週
- 7日(火) あいさつ運動
- 8日(水) 保育所開放日
- 10日(金) 布団持ち帰り日
- 14日(火) 更生保護女性会来所
- 15日(水) なかよしデー(久多美神社散歩)
- 16日(木) 5歳児3施設【中部・わにぶち・みなみ】交流保育(於:わにぶち保育所)
- 17日(金) 不審者侵入時対応訓練
- 20日(月) 敬老の日【祝日:休所】
- 21日(火) 集金日 避難訓練(火災)
- クッキング:りんごジャム(きりん組)
- クッキング:お月見だんご(りす組)
- 22日(水) 誕生会
- 23日(木) 秋分の日【祝日:休所】
- 24日(金) わくわくデー(折り紙教室:ぱんだ組参加)
- 布団持ち帰り日
- 保育所開放日②(離乳食実習会 13:30～)
- 25日(土) ファミリーくらぶ(親子で楽しむふれあい遊び)
- 27日(月) ◆一日保育士⑤
- 28日(火) 弁当の日
- ◆なかよし遠足(きりん組)
- クッキング:りんごジャム(ぱんだ・うさぎ組)



10月の主な予定

- 9日(土) ◆運動会
 - 14日(木) 弁当の日 ◆遠足(うさぎ組以上)
- ◆のついている行事につきましては、後日お便りで詳しくお知らせします。



お知らせとお願い



★わがごとくTV取材について(2日)

2日(木)は『元気いっぱいひらたっ子!』の取材があります。登所時から1日の子どもたちの様子を撮影され、年長児はインタビューにもこたえます。放送日時は次の予定です。

- 17日(金)・24日(金) 午後6時15分～(1時間おきに放送)
 - 25日(土)・26日(日) 午後7時15分～(3時間おきに放送)
- 10月は12chで繰り返し放送があります。

★不審者侵入時対応訓練について(17日)

出雲警察署の方に来ていただき、不審者が侵入してきたことを想定して訓練をし、子どもたちには知らない人についていけない等、指導していただきます。

★職場体験について

智原さん(養護学校3年生)が9月27日(月)～10月1日(金)の5日間、職場体験をしますのでよろしくお願いいたします。

★履き物について

9月からは散歩に出かける機会が増えますので、ズックを履いて登所しましょう。動きやすく足に合ったサイズのもの履きましょう。

お知らせ

- * 布施恵保育士は9月よりひよこ組を担任いたします。
- よろしくお願いいたします。

職員研修のお知らせ ▽午前・△午後

- 10日 中国地区保育研究大会(配信)～佐藤
- 13～15日 キャリアアップ研修【障がい児保育】～河原
- 13日△年中児発達相談事業説明研修会～森脇
- 15日△聴覚障がい早期教育研修会～森脇

○保育目標～体を動かして遊ぼう。

走る・とぶ・登る・くぐるなど、様々な動きを体験しながら、体を動かす楽しさや心地よさが感じられるような運動あそびを、年齢に合わせて取り入れていきます。また、勝ったり負けたりする中で、あきらめずに取り組もうとする気持ちが持てるように支えます。

○生活目標～物を大切にしよう。

自分のロッカーや持ち物はもちろん、共同で使う玩具や用具を大切に扱うよう、子どもたちと一緒に、使い方や片づけ方を考えていきます。また、小さいクラスの子どもたちにも、身近な大人がおもちゃや絵本などを一緒に片づけたり、大切に扱ったりする姿を見せながら伝えたいと思います。



プール遊びを楽しみました



ひよこ組

こどり組

りす組

水に浮くおもちゃやジョウロで遊んだよ。



うさぎ組

手作りボードで遊びました。



ぱんだ組

バタ足練習中!



きりん組

愛宕山プールで泳ぎました。

☆子育てのヒント

「科学遊びで好奇心の扉をひらこう！」

科学の本の読み合わせをしていると、本の中のことや自分たちの体験や知識の中から「ほんと?」といった好奇心がたくさん生まれてきます。それを確かめようと、別の本や実験などで探求していくうちに「ほんとだ!」となっていきます。それを、「ほんとほんと、そうよね」とみんなであいづちをうって共感しているうちに、どんどん楽しくなるのです。

(中略)

私たちの生活において、科学知識は必要です。しかし、大事なことは、得た知識をどう活かすかです。自分はどのように判断しどう行動すればよいのか、といったことが人間社会の中で求められます。

「かがくが好きになる絵本 100」

科学の本の読み聞かせの会「ほんとほんと」～幻冬舎 (一部抜粋)

保育所では、子どもたちが様々なことに興味・関心を持ち、体験できるように環境を工夫しています。

乳幼児期に、自然や周りの環境の不思議さに気づき、かかわったり体験したりすることでさらに好奇心や探究心を育むことにつながっていきます。

ご家庭でも親子で一緒に科学の不思議さを楽しんでみませんか?



ご家庭で楽しめる科学あそびがたくさん紹介されています。保護者向け貸し出し本にあります。



今年もかき氷屋さん開店!!